

コレスポンド通信 令和2年度1月号

栃木県教育委員会
認可通信教育

人権教育講話 11月29日(日)

今回の講師は、2017年度青年海外協力隊員に参加された、糸井康浩先生。現在は横川西小学校の講師をしておられますが、以前は学悠館高校の定時制に勤務されていました。演題は「自分が好き≠他の人も好き～アフリカでの経験等から～」です。

お話は、自らが人と接するのが苦手であり、教員をしていることが不思議ということから始まり、青年海外協力隊としてアフリカのザンビアで行った教育の話や現地での生活の話へと続いていきました。

普段は聞けない外国の話まであり、有意義な講演となりました。とても勉強になるお話でしたので、聞き逃した生徒のために、YouTubeに動画をアップする予定です。



進路講演会 12月1日(火)

演題は「未来を見つけよう」。講師は(株)リクルート北関東マーケティング栃木支社長兼賃貸事業部長の石川英章先生。

将来は職業に就くであろう生徒のため、企業がどのような人材を必要としているのか、面接ではどのようなことが聞かれるのか、今学習している教科科目はどのような仕事に活かされるのか等を分かりやすくお話してくださいました。



クリーン運動 12月6日(日)

学校から栃木駅周辺の清掃を行いました。風もなく暖かな陽気の中、学校を出発して栃木駅の北口方面と南口方面に分かれて、主に道路のゴミを拾いました。この日はそれほどゴミが見当たらず、駅周辺の清掃が行き届いているように感じました。それでも小さなゴミを見つけては一生懸命に拾う生徒の姿が印象的でした。



性教育講話 12月13日(日)

講師に「マザーズはうす」の助産師である天谷先生をお迎えし、「妊娠と保育」というテーマでお話をいただきました。始めに男性と女性の体の話から始まり、若年性の妊娠の危険性や、妊娠してからの赤ちゃんの成長の様子、避妊の必要性、性病の恐ろしさなどの話をしてくださいました。

講演後の質問でも「妊娠中の適切な食事」などが出され、生徒も感心が高いように感じました。



薬物乱用防止講話 12月15日(火)

12月15日(火)に「薬物乱用防止講話」が実施されました。

今年は栃木警察署の生活安全課より佐藤先生を講師に迎えて講演をしていただきました。始めに薬物を使用する恐ろしさをビデオを視聴し、警察で少年を薬物から守る仕事もしている視点から、薬物を使用するとどうなってしまうのかを薬の種類を交えながら教えていただきました。

生徒も真剣な表情で聞き入っていました。



令和3年度の受講科目を決めましょう

令和3年度への「本校継続受講」に向けての手順

令和3年度に本校で継続して受講することを希望する場合には、下記の日時のLHR(於:各教室)に出席し、次の4回の手順を踏まなければなりません。

1 日程・内容

第1回 12月20日(日) 6・7時限、22日(火) 6・7時限

- ・次年度受講の説明 (令和3年度教育課程表の提示・説明)
- ・「令和3年度受講申込書」の記入(別紙)
- *欠席者は個別指導を受ける。

第2回 1月31日(日)・2月2日(火) 4時限

- ・次年度受講の仮決定(受講科目の選定・仮決定)
- *欠席者は電話連絡の上、2月12日(金)までに登校し個別指導により受講の仮決定をする。

この間、各担任が正しく受講科目の選定がなされているかどうかを確認し、変更の必要がある場合には連絡するので、連絡が取れるようにしておく。

第3回 3月7日(日)・9日(火) 2・3時限

- ・次年度受講申し込み(受講科目の決定、受講科目届の提出)
- *欠席者…3月15日(月)までに登校し受講申し込みを済ませる。

第4回 4月中旬 日時は受講予定者に連絡

- ・受講手続き(受講料・諸会費納入、教科書・学習書購入)

2 留意点

- ① 筆記用具、電卓、「シラバス」等を持参する。
- ② やむを得ず欠席する場合は、必ずHR担任に電話で連絡し、上記の期限までに個別指導を受ける。

3 受講科目の選定について

次の【注意事項】に気をつけて、「教育課程表」および「シラバス」を参照し、自分に合う受講科目を選定する。

【注意事項】

- (1) 必修科目を優先させて選定する。
今年度修得できなかった科目は再受講となる。(次の年次に移る場合には、修得科目や修得単位数などの条件を満たす必要があるため、担任に相談する。)
- (2) 次年度卒業予定の場合…卒業条件を満たせるように選定する。(必修科目および修得単位数の確認)
- (3) 自分の卒業後の進路も視野に入れて選定する。

人権について考えよう

「自分が好き≡他の人も好き～アフリカでの経験等から～」
 欠席した人も You Tube で講演を見ることができます。

12月4日～10日は人権週間でした。みなさんは人権について考える機会を持てたでしょうか？

本校通信制では11月29日(日)に上記のテーマで人権教育講演会が行われました。青年海外協力隊2017年度2次隊隊員として二年間、ザンビアで活動をされていた糸井 康浩先生のお話は、豊富な現地の写真と動画、さまざまな実体験を交えての、大変わかりやすく興味深いものでした。参加した生徒たちの感想をご紹介します。

- ・自分が好きなことをやり、自分を知り、認めることで、他の人も認め好きになることができるのだなと考えました。
- ・すべての話が印象深く、聞いていてとても楽しかったです。
- ・ザンビアにも特別支援学校があることを知ってビックリした。
- ・自分なりの人権の考え方や人生観がしっかりあるところがすごいと思い、1番印象に残っています。
- ・ザンビアの学校はお金を払えなくて学校に行けない人もいることがわかりました。
- ・私とあまり変わらない性格をしているのに、海外に行っているいろいろなのがすごいと思いました。野宿する勇気がすごいと思いました。
- ・自分の人生を一度見つめ直すいい機会でした。これから先は自分にうそをつかない生き方をしたいと思いました。
- ・旅に出たり、ガンジス川に飛び込んだり、青年海外協力隊に入ったりして、「やってやる」と思って行動できるところがすごいと思った。とにかく行動を起こして、勇気をつけるんだと思った。様々な経験が自信につながっていると思った。
- ・(印象に残っている話は)「自分の人生の責任を他人は取ってくれない。同じ失敗なら、自分の責任で失敗したい。」という言葉。自分を認め、好きになることで、他の人も好きになれるということ。
- ・人権とは、誰でもされて嫌なことは嫌ということが出来る権利ということなどがわかった。
- ・ありのままの自分でいいんだと思った。今の自分を大切にしたい。お互いを認め合うことはとても大事なことだと思う。
- ・自分の権利が保障されていなければ、他人を気遣うことは難しい。(ということがわかった。)



今回人権教育講演会に出席できなかった人や、もう一度話を聞きたいという人は、ぜひ

<https://youtu.be/0ZqqIFd1sfI>

で視聴してください。

視聴可能期間

12月20日～1月23日

学習について①

試験を受けるには、必ず手続きが必要です!!

後期試験の注意事項 ※スクールガイドのP17～19 および P47～48参照

① 後期試験の日程は次の通りです。

	日曜本試験	火曜本試験	追試験
第1日目	1月17日(日)	1月19日(火)	1月21日(木)
第2日目	1月24日(日)	1月26日(火)	1月28日(木)
第3日目	1月31日(日)	2月2日(火)	2月4日(木)
再試験	2月14日(日) もしくは 2月16日(火)		
再々試験	2月18日(木)		



② 後期試験の時間割はスクールガイド(P47～48)に掲載されています。

- ・試験を実施する教室は試験当日の朝、1Fのエントランスホールに掲示します。少し早めに登校し、確認してから移動してください。

③ 後期試験は、後期のレポートがすべて合格し、年間最低出席時間数の条件を満たしていないと受験できません。

- ・受講している科目のすべてのレポートを確認してください。
- ・未提出や不合格のレポートがある場合は、受験することはできません。

④ 本日(12/20・12/22)、スクールガイド巻末の「後期試験受験届」を提出してください。

- ・受験する科目が、試験時間割表の同時間帯に2つ以上重なった場合は、右側に記載されている科目を「重複科目名」の欄に書いてください。
- ・「芸術科目」が重なる場合は、
 「芸術」と「他教科科目」⇒「他教科科目」を「重複科目名」の欄に
 「音楽」と「書道」 ⇒「音楽」を「重複科目名」の欄に
 「音楽」と「美術」 ⇒「音楽」を「重複科目名」の欄に
 「書道」と「美術」 ⇒「美術」を「重複科目名」の欄に書いてください。
- ・12月20日及び22日のLHR欠席者は「後期試験受験届」を1月7日(木)までに担任まで必ず郵送してください。その際、レポート提出用封筒の科目名の欄に「後期試験受験届」と記入してください。
- ・都合により受験日を変更(日から火、火から日)したい場合は「受験日変更願(緑色)」を1月7日(木)までに担任まで提出してください。
- ・登録した曜日と異なる日に受験することはできません。
- ・日曜・火曜の本試験を受験できない場合は、試験日の1週間前までに「追試験願(黄色)」を提出してください。当日急病などで試験を受けられなくなった場合、その日の朝9時までに電話連絡をした場合は追試験を受けることができます。追試験受験には、条件やルールがいくつかありますので、スクールガイドP18をよく読んでおきましょう。

⑤ 試験当日は遅刻をしない。

- ・5分以上遅刻した場合は、その科目の試験は受けられません。ホームルーム担任に連絡してください。
- ・試験時間内の途中退出はできません。

⑥ 試験中は不正行為を絶対にしない。

- ・身分証を必ず携帯し、机に出しておくこと。携帯電話は電源を必ず切り、かばんにしまうこと。
- ・教室内の座席は自由ですが、前後左右を空けて着席すること。
- ・机上は、身分証と筆記用具(鉛筆・消しゴム)のみにしてください。
- ・所持品はすべてかばんの中に入れてください。かばんは机の横にかけてください。
- ・つばのついた帽子、手袋などは試験中は着用しないでください。
- ・不正行為があった場合は、その科目は失格となります。

⑦ 試験は30点以上で合格です。

- ・後期試験に合格できない場合、その科目の単位は取得できないことになります。
- ・本試験及び追試験に、不合格または欠席した生徒は、手続きをして再試験を受けてください。
- ・再試験に、不合格または欠席した生徒は、手続きをして再々試験を受けてください。

⑧ 本試験の答えは、2月4日(木)午後にとまとめて発送されます。

- ・答案を受け取ったらすぐに、全科目合格できたかどうかを確認してください。
- ・不合格の科目や未受験の科目があった場合は、「再試験許可通知」を確認し、2月10日(水)までに「再試験届(水色)」を担任まで提出してください。

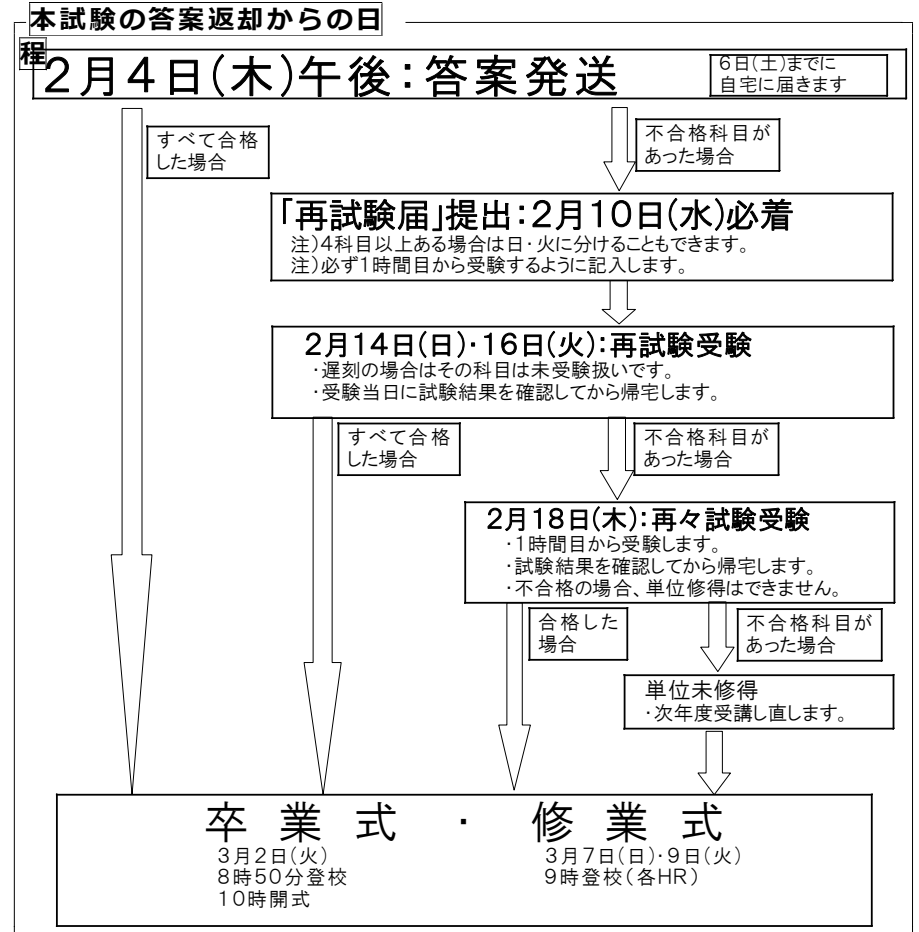
⑨ コンディションを整えて試験に臨みましょう。

- ・十分に試験勉強をして受験しましょう。
- ・栄養、睡眠を十分にとって体調管理をしましょう。毎朝の検温、マスクを忘れずに。
- ・教室内をこまめに換気します。あたたかい服装で受験しましょう。



学習について②

●本試験後の日程やそれぞれの注意点をよく確認してください●



本校の在籍期間について

試験が終了したら次年度の受講も考えますが、在籍できる期間が決められていることにも注意が必要です。在籍期間中に卒業できなければ在籍できないことになります。

- 1年に入学した場合は8年間の在籍が可能。(転入学の場合は7年間)
- 2年に入学した場合は7年間の在籍が可能。
- 3年に入学した場合は6年間の在籍が可能。
- 4年に入学した場合は5年間の在籍が可能。

と決められています。卒業を目指すために入学してきたので、在籍可能期間内に卒業することができなければ”除籍”となります。

また、転編入学する場合は、以前に在籍していた期間を考慮して学悠館での在籍期間が決まります。自分の在籍可能期間を確認しておきましょう。

学習について③



令和2年度 後期試験に向けた「学習会」

☆後期試験に向けてしっかり準備したい人、不安で困っている人、下の表で日程をよく確認し、積極的に参加しましょう！

☆事前予約の必要はありません。（もちろん、予約も大歓迎です。）

☆学習会に参加する場合は、教科書やレポート等を持参してください。分からないところや試験対策のしかたなどをどんどん質問しましょう！

☆学習会当日は直接教室に行かず、必ず教員室の科目担当の先生に声をかけてください。

期 日	午 前	13:30~15:30	教 室
1/12(火)		「日本史B」「地理B」「社会と情報」 「生活デザイン」「地学基礎」 「現代社会」「科学と人間生活」「数学B」 「体育1」「体育2」「体育3」「生物」	201 ~ 204
1/17(日)	〔後期試験1日目〕	「家庭総合」「化学」「政治・経済」 「世界史A」「世界史B」「化学基礎」 「コミュ英語基礎」「コミュ英語Ⅰ」 「英語表現Ⅰ」「コミュ英語Ⅱ」 「生物基礎」「倫理」 「音楽Ⅰ・Ⅱ」「美術Ⅰ・Ⅱ」「書道Ⅰ・Ⅱ」	201 ~ 204
1/19(火)		〔後期試験1日目(重複科目)〕	207 208
1/24(日)	〔後期試験2日目〕	「保健1」「保健2」「体育4」 「情報の科学」 「数学Ⅰ」「数学A」 「数学活用」「数学Ⅱ」 「国語総合」「現代文B」 「国語表現」「古典B」	201 ~ 204
1/26(火)		〔後期試験2日目(重複科目)〕	207 208

進路についてのお知らせ



1・2・3年生へ

就職？進学？専門学校がいいかな？大学に行けるかな？

などと卒業後の進路で悩んでいる人たちも多いと思いますが、卒業予定の先輩達は7月から就職活動や受験勉強に頑張ってきました。その成果として12月までに就職内定者が10名、大学推薦合格3名、専門学校合格7名となっています。大学受験の本番はこれからですし、高校求人はまだ続いています。まだ多くの先輩の進路が次々と決まって行くことでしよう。

その進路について、皆さんも考えてゆかなくてはなりません。実際には4年次になってからでは遅い場合もあります。進路に合わせた科目選択など、1年次の時点で決まっていなくて進学もままならない場合もありますよ。

その心構えを頭に入れておきましょう。

就職希望者

どのような職種があり、自分がどのような仕事に就きたいのか、今のうちに考えておきましょう。

自宅から通える範囲か、下宿なのか。製造なのか営業か、建築、販売なのか。食品、機械、調理、運搬なのか。など、考えておくことはたくさんあります。さらに、会社によっては運転免許が必要な場合もあります。いつ免許を取るのかの計画も必要です。

今年度に出た求人は保存されています。どのような会社があるのか知りたい場合には、担任に申し出て、見せてもらいましょう。

さらに！

新年度の求人票は7月1日には閲覧が可能となりますが、そこで迷っていたら時間が無駄になります。

7月中旬には企業見学を始めて、8月には書類を作成し、9月には応募しなくてはなりません。休んでいる暇などありません。

そして、応募するためには成績も良く、欠席の少ないことが条件になります。学校の活動に積極的に参加していることも採用のためには必要項目です。活動も出来ない人が仕事などできませんからね。

思い当たる節はありませんか？今からでも学校の活動に参加しておきましょう。

進学希望者

進学の場合、まずは大学に行くのか専門学校に行くのかを決めなければなりません。

大学と専門学校では、受験活動が異なっています。大学では受験科目を勉強することが中心となり、専門学校では学校説明会やオープンキャンパスに足を運ぶことが大切になります。大学でも一度くらいキャンパスを訪れておくことが大切になります。

特に大学の場合は、文系と理系で勉強に必要な科目も異なります。それに合わせて科目を選択したり、進路講座に参加したりすることが大切です。

そして

自分の学力を知っておくことも必要になります。実力に見合った学校でないと、合格もできないし、万一入学できても大学の勉強について行けなくて退学、なんてことになりかねません。

そのためには実力判定の試験を受けておきましょう。模擬試験の連絡は行っています。進学希望の気持ちがあってもあるのなら、担任に申し込んでおきましょう。試験の申込みがある場合に、必ず教えてくれます。

勉強するにも自宅より学校の方が集中できるのなら、毎日学校に登校することもできますよ。

就職の場合でも「小論文」や「一般常識問題」が課せられる場合があります。小論文などは十分に練習しておかないと、本番で書くことはできません。1日や2日で書けるようになるものでもありません。次年度は「進路講座」に参加して先生の指導を受けるなどの対策を考えておきましょう。

進学のための勉強を進める場合に、通信制では開講していない科目を定時制で受講することも可能です。早めに進学希望の学校を見つけて、受験に合わせた受講科目の設定を考えましょう。1年の時から始めればgood!ですよ。